

参加メリット一覧（修正版）

1. 材料安定

共同調達

- 各社バラバラ発注ではなく共同購入
 - 小口ではなく大口交渉
 - 材料価格交渉力向上
 - 優先供給交渉
 - 材料不足時の共同対応
-

情報共有

- 材料不足情報共有
 - 出荷停止情報共有
 - 価格変動共有
 - 危険材料早期把握
-

在庫最適化

- 各社余剰在庫共有
 - 現場間材料移動
 - 材料ロス削減
 - 不要在庫削減
-

現場全体最適化

従来は：各職種が個別発注

だったが、

今後は：現場全体を止めない

視点で：

- 材料
- 工程
- 人員

を全体管理。

2. 支払い安定

入金管理

- 入金予定共有
 - 支払い予定共有
 - 現場別資金管理
-

未払い防止

- 入金確認
 - 支払い状況可視化
 - 未払いリスク早期把握
-

支払サイト整理

- バラバラ支払い条件整理
 - 現場毎の混乱軽減
 - 資金計画安定化
-

材料立替負担軽減

- 材料共同購入
 - 支払タイミング調整
 - 共同仕入による負担軽減
-

3. 人材安定

人員融通

- 空き職人共有
 - 応援体制構築
 - 繁忙現場支援
-

多能工化

- 職種連携
 - 工程理解
 - 現場対応力向上
-

若手育成

- 若手教育共有
 - 技術継承
 - 現場経験共有
-

地域施工力維持

- 職人流出防止
 - 地域雇用維持
 - 協力会社維持
-

4. 数字管理

原価管理

- 材料費管理
 - 人工管理
 - 外注費管理
-

利益率確認

- 現場別利益率
 - 赤字案件早期把握
 - 利益構造可視化
-

赤字案件防止

- 材料価格反映
 - 追加工事管理
 - 原価変動共有
-

見積精度向上

- 過去案件分析
 - 材料単価共有
 - 利益率分析
-

感覚経営からの改善

従来： 経験・感覚中心

だった部分を、

- 数字
- 原価
- 利益率

で見える化。

5. ゼネコン交渉力

窓口一本化

- 契約整理
 - 工程整理
 - 管理統一
-

人数確保

- 多職種対応
 - 応援体制
 - 大規模対応力向上
-

工程安定

- 材料状況共有
 - 工程調整
 - 現場停止リスク軽減
-

管理統一

- 安全管理
 - 工程管理
 - 原価管理
-

施工共同体としての信用力

- 人数
- 管理
- 支払い
- 材料

を共同化する事で、

「現場を最後まで止めずに回せる組織」

としての信用力向上。

6. 法務税務支援

契約整理

- 契約統一
- 追加工事記録

- 支払い条件整理
-

インボイス対応

- 請求整理
 - 税務整理
 - 消費税対応
-

労務整理

- 労災
 - 社保
 - 安全管理
 - 就労管理
-

支払い整理

- 支払い管理
 - 未払い対策
 - 資金流れ可視化
-

偽装請負対策

「人工出し」ではなく、

「工事請負」

として整理。

7. システム化による最適化

在庫管理

- どこに何があるか
- いつ不足するか
- どの現場へ回すか

を可視化。

材料不足予測

- 使用量分析
 - 消費速度分析
 - 危険材料早期把握
-

工程最適化

- 材料状況
- 人員状況
- 工程

を同時管理。

現場全体最適化

従来：各社個別管理

だったものを、

「現場全体視点」

で最適化。

8. 本構想の本質

本構想は、

単なる：

共同購入 人工出し 新しい下請会社

ではありません。

本質は

「施工共同インフラ」

です。

目的

- 現場停止防止
- 材料不足対応
- 未払い防止
- 原価改善
- 地域施工力維持
- 次世代継承

を共同で行う事。

最後に

今後の建築業界では、

- 材料
- 人
- お金
- 工程
- 情報

を、

「現場全体視点」

で管理する必要性が高まる可能性があります。

その為、

「施工共同インフラ」

としての共同体構想が重要になる可能性があります。

更新日: 2026-05-06 18:06 JST